

《1964年、新潟地震、河川法改正、そしてオリンピック》

1964年（昭和39）は、10月10日のオリンピック開催式までに、新潟地震、河川法改正がありました。いずれの出来事も、多摩川に大きな変革をもたらします。

6月16日、新潟地震が発生。これを契機に、東京都防災会議、中央防災会議は首都圏の地震対策を提言し、多摩川河川敷が広域避難場所に指定、緊急河川敷道路が整備されることになります。（注1）つまり、多摩川が、地震対策の役割を担うように変わります。

7月10日、河川法が抜本的に改正。時の建設大臣は、河野一郎（注2）でした。一郎は、農林大臣から建設大臣となり、オリンピック関連のインフラ整備に辣腕を奮うとともに、在任期間の最後に、山本三郎らが準備した新河川法を、国会に上げ通しました。（注3）

明治29年にできた河川法は、河川工事の責任者とその費用を誰が負担するのかを定めたものでした。これでは、水力発電の時代には対応できず、各地で水利紛争が起り、長期化します。河川総合開発の時代となり、「特定多目的ダム法」が制定されましたが、ダムの洪水調節機能と下流河川の洪水処理機能を統合する計画に、法的位置づけを与えることはできませんでした。

そこで、ダムと下流河道を統合した治水計画を策定し、水系一貫して管理する責任者を定める抜本改正を断行します。（注4）

それまで、多摩川は、建設大臣が改修工事と維持工事を担当し、河川敷の占用許可といった管理行為は都と神奈川県が行なう仕組みでしたが、工事から管理まで建設大臣が行なうことに変えたわけです。（注5）

さて、10月10日、東京オリンピックが開幕。私は、小学生3年生でした。自宅のカラーテレビで、開会式を視聴した記憶が鮮明に残っています。（注6）国立競技場第1体育館（水泳競技）のモダンさに未来を感じ、代々木の選手村の洋式トイレに文化の違いを感じたことも思い出されます。

あまり知られていませんが、多摩川流域の八王子には、自転車競技場と選手村がありました。南浅川に隣接して建設されたのですが、その後は取り壊され、現在都立綾南公園となっています。自転車ロードレースの約25kmのコースも、八王子周辺に配置されました。

また、マラソンコースが、甲州街道に設定され、その折り返し点が、調布市にある味の素スタジアム（注7）のところでした。現在、その記念碑が建っています。当時、まだ田園風景が広がる地域だったにも関わらず、多くの観客が沿道に集まり、選手に声援を送りました。

なお、オリンピックを契機に、多摩川は、河川敷の利用形態を変革することになっていきますが、これは、次号でご紹介。

注1：東京都防災会議地震部会は、1965年（昭和40）から具体的検討を始め、1967年（昭和42）から広域避難場所を選定。緊急河川敷道路は、東京都だけでなく自治省消防審議会でも検討が加えられ、1970年（昭和45）中央防災会議にも取り上げられて災害対策基本法に準拠した要綱等に位置づけられ、多摩川、荒川、江戸川で着工されました。

注2：河野一郎（生没年1888－1965年）は、1954年（昭和29）吉田内閣の後成立した鳩山内閣において農林大臣として初入閣。1955年（昭和30）、自由民主党結党に参加し、最大派閥を形成。1956年（昭和31）、日ソ平和条約をまとめ上げます。

1961年（昭和36）7月、池田内閣で農林大臣に就任、1962年（昭和37）7月に建設大臣となりました。

注3：河川法は、当時事務次官であった河川技術者の山本三郎（生没年1909－1997年）が中心的役割を果たして改正の目処をつけました。三郎は、1963年（昭和38）に退官。

注4：この法律改正の背景には、水象を解明する技術革新がありました。それは、1年間における最大降水量を統計処理すると、数学の確率論に使う分布に近似することが解明されたこと、次に、降水量から河川への流出量を計算する新しい計算手法が開発されたこと（狩野川台風の降水と洪水実績から貯留関数法が研究開発された）です。この技術革新をもとに、確率年の洪水外力を想定し、ダムの洪水調整効果を織り込んだ下流河川の洪水処理計画が科学的に計算できるようになりました。

注5：多摩川の治水計画は、既存計画を踏襲して河川の洪水処理計画が策定されました。また河川敷の管理において、河川敷ゴルフ場を巡り、旧河川法で神奈川県知事が許可していた占用を、新河川法に従い、建設大臣が占用不許可処分にし、その結果、訴訟が起りました。その経緯は、次号で紹介します。

注6：カラーテレビ放送は、1960年（昭和35）に、NHKが最初に放送を開始し、オリンピック前年の1963年（昭和38）に、ケネディ暗殺の速報が、日米間でテレビ衛星放送にでもたらしました。オリンピックは、テレビ・通信分野のイノベーションを社会に浸透させたのですね。

注7：味の素スタジアムは、調布飛行場跡地に、2001年（平成13）にオープン。東京ヴェルディのホームグラウンドです。

写真は、①東京オリンピック開会式（（公財）日本オリンピック委員会掲載写真）、②マラソン折り返し地点を走るアジスアベベ（「たらのコーヒー屋さん〜ダブリンアイルランドBlog」掲載写真）、③東京五輪マラソン折返点記念碑（細見撮影）、④多摩川緊急河川敷道路（Blog「take a walk2」掲載写真）



